

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '消防団施設整備・維持管理事業' and '防災・消防対策の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about fire truck fleet management and fire prevention activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '分回車庫建設棟数', '消防団施設', and '火災・災害への出動回数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 述へ業務時間) for 27-31 years.

Table comparing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円) with categories like 11 需用費, 14 使用料及び賃借料, 15 工事請負費.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 29, 30, and 31 years' implementation content. Includes a note about entering content and a list of main activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	消防団施設整備・維持管理事業	事務事業No.	40102000681	所属課	生活安全課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 消防ポンプ車の更新に伴い車庫建設の必要がある。（車庫に収まらない等） 町村合併により消防団施設の整備箇所が増加し、その財源も限定されているため整備が追いつかない状況であり費用対効果が出るよう計画的に進める必要がある。 平成23年3月の東日本大震災では、11箇所の車庫詰所が被災した。 老朽化した施設が増え、修繕コストが増える傾向にある。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の維持管理費節減のため、分団統合等の意見があり、今後、分団の統合を検討する。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 消防団員に指導育成を強化し施設管理の徹底を図る。	
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） 結びついている 消防施設が整備され維持管理が徹底されることは、消防体制の強化につながり政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） 妥当である 車庫は、市が購入し管理する消防ポンプ車を保管する施設であるので公共の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） 向上余地がない 施設の充実にはコストがかかる。整備する仕様も必要最低限であり、これ以上の成果の向上は難しい。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） 影響有 消防ポンプ車の管理に影響し、消防力が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 類似事業がないため、統廃合・連携の余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） 削減余地がある 分団が管理する施設については、日頃の管理を徹底し大切に使用することにより、管理費は削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） 公正・公平である 市が設置する消防団の施設であり公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 老朽化した車庫を順次建て替える必要がある。特に消防ポンプ車を更新する際は、現在の車庫に入らない場合があるので注意する。消防団の統合により車庫建設を減らせるが、消防力の低下につながるおそれがあり対応は、注意しなければならない。 施設の老朽化により、修繕のコストが増大する。分団の維持管理を徹底させる。																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり		⇒																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 消防団員に指導育成を強化し施設管理の徹底を図る		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	④																							
		コスト削減優先度評価結果	⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>